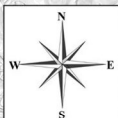
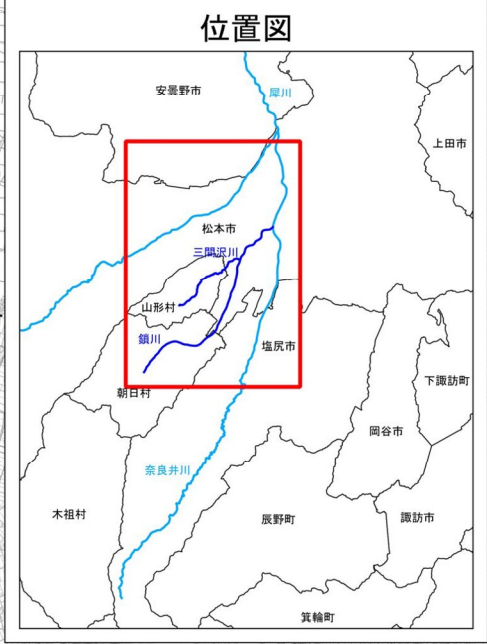


# 信濃川水系 鎖川 三間沢川 水害リスクマップ (現況河道 浸水深3m (一階居室浸水相当) 以上)

安曇野市



1. 説明文  
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、現況(令和3年度末)の鎖川、三間沢川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率がそれぞれ1/10(10%)、1/30(3%)、1/50(2%)、1/100(1%))の降雨に伴う洪水により鎖川、三間沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(一階居室浸水相当)以上)を示したものです。  
(2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーションの結果です。この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。年超過確率と浸水頻度が異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、中央集中型モデル降雨波形を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。  
(3) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和4年4月に指定・公表したものを表示しているため、前提としている降雨や河道条件等が異なります。
  2. 基本事項等  
(1) 公表年月日 令和8年3月27日  
(2) 作成主体及び対象となる河川 長野県松本建設事務所: 信濃川水系鎖川、三間沢川  
(3) 実施区間 長野県松本建設事務所  
・鎖川  
左岸: 東筑摩郡朝日村大字古見7番の7地先(一級河川管理区間上流端)から奈良井川への合流点まで  
右岸: 東筑摩郡朝日村大字古見5番の18地先(一級河川管理区間上流端)から奈良井川への合流点まで  
・三間沢川  
左岸: 東筑摩郡山形村上手村3085番の1地先(一級河川管理区間上流端)から鎖川への合流点まで  
右岸: 東筑摩郡山形村上手村3049番の1地先(一級河川管理区間上流端)から鎖川への合流点まで  
(4) 算出の前提となる降雨  
年超過確率1/10(鎖川流域の24時間の総雨量100mm)  
年超過確率1/30(鎖川流域の24時間の総雨量130mm)  
年超過確率1/50(鎖川流域の24時間の総雨量145mm)  
年超過確率1/100(鎖川流域の24時間の総雨量164mm)  
想定最大規模(鎖川流域の24時間の総雨量725mm)  
年超過確率1/10(三間沢川流域の24時間の総雨量99mm)  
年超過確率1/30(三間沢川流域の24時間の総雨量129mm)  
年超過確率1/50(三間沢川流域の24時間の総雨量143mm)  
年超過確率1/100(三間沢川流域の24時間の総雨量162mm)  
想定最大規模(三間沢川流域の24時間の総雨量813mm)  
(5) 河道条件: 現況(令和3年度末)  
(6) 関係市町村 松本市、山形村、朝日村  
(7) その他計算条件等  
① 氾濫計算は、対象区間をおよそ5mまたは10m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
② 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。  
③ 以下の年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100および想定最大規模の降雨に伴う洪水による浸水状況のシミュレーション結果を重ね合わせて表示しています。  
(奈良井川、大門沢川、西大門沢川、田川、女鳥羽川、薄川、鎖川、三間沢川、唐沢川、小曾部川、矢沢川)
- ※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



松本市

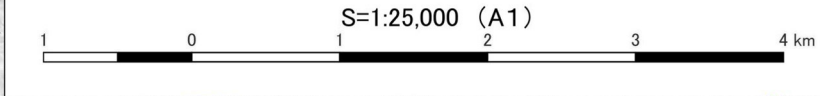
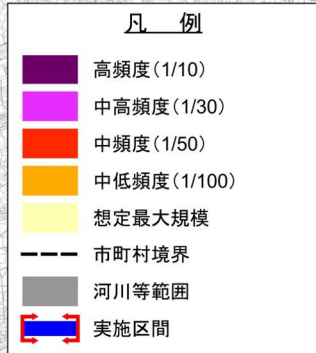
山形村

三間沢川

塩尻市

朝日村

鎖川



この地図は、松本市長の承認を得て、松本市作成の松本市基本図1/2,500を使用したものである。(承認番号 令7松建都指令第283号)  
この地図は、塩尻市長の承認を得て、塩尻市作成の塩尻市基本図1/2,500を使用したものである。(承認番号 7建第738号)  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs530)  
背景図は基礎地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。